

LEAGUE

一般社団法人ジャパンバレーボールリーグ
第19期第7回理事会後 メディアレク

2023年12月20日

本日のアジェンダ

1. 2024-25シーズン
新クラブライセンス 申請状況
2. V.LEAGUE REBORN 進捗状況
3. Q&A





1. 2024-25シーズン 新クラブライセンス 申請状況

1. クラブライセンス交付規則改定の目的

2030年にめざす姿
世界最高峰のリーグへ



より強固な基盤を、より広い規模に展開

クラブライセンス制度・クラブライセンスマネージャー（常勤）

2. 新クラブライセンス 申請状況

・11月30日を持って申請を締め切り。SVライセンス申請チームは以下の通り

男子 (14クラブ)	V1 全10クラブ	・ウルフドッグス名古屋 ・サントリーサンバーズ ・パナソニックパンサーズ ・日本製鉄堺ブレイザーズ ・東レアローズ	・ジェイテクトSTINGS ・JTサンダーズ広島 ・東京グレートベアーズ ・VC長野トライデンツ ・ヴォレアス北海道	V2 3/10クラブ	・大分三好ヴァイセアドラー ・北海道イエロースターズ ・クボタスピアーズ	V3 1/11クラブ	・奈良ドリーマーズ
	V1 全12クラブ	・NECレッドロケッツ ・東レアローズ ・久光スプリングス ・埼玉上尾メディックス ・JTマーヴェラス ・デンソーエアリービーズ	・日立Astemoリヴァーレ ・トヨタ車体クインシーズ ・PFUブルーキャッツ ・KUROBEアクアフェアリーズ ・岡山シーガルズ ・プレステージ・インターナショナルアランマーレ	V2 3/10クラブ	・ヴィクトリーナ姫路 ・群馬グリーンウイングス ・ブレス浜松	V3 0/4クラブ	—

・S-V.LEAGUE クラブ数は偶数とする（全チームの試合を22節で同日開催とするため）
・社会人（アマチュア）リーグの整備をJVAと協議・推進中

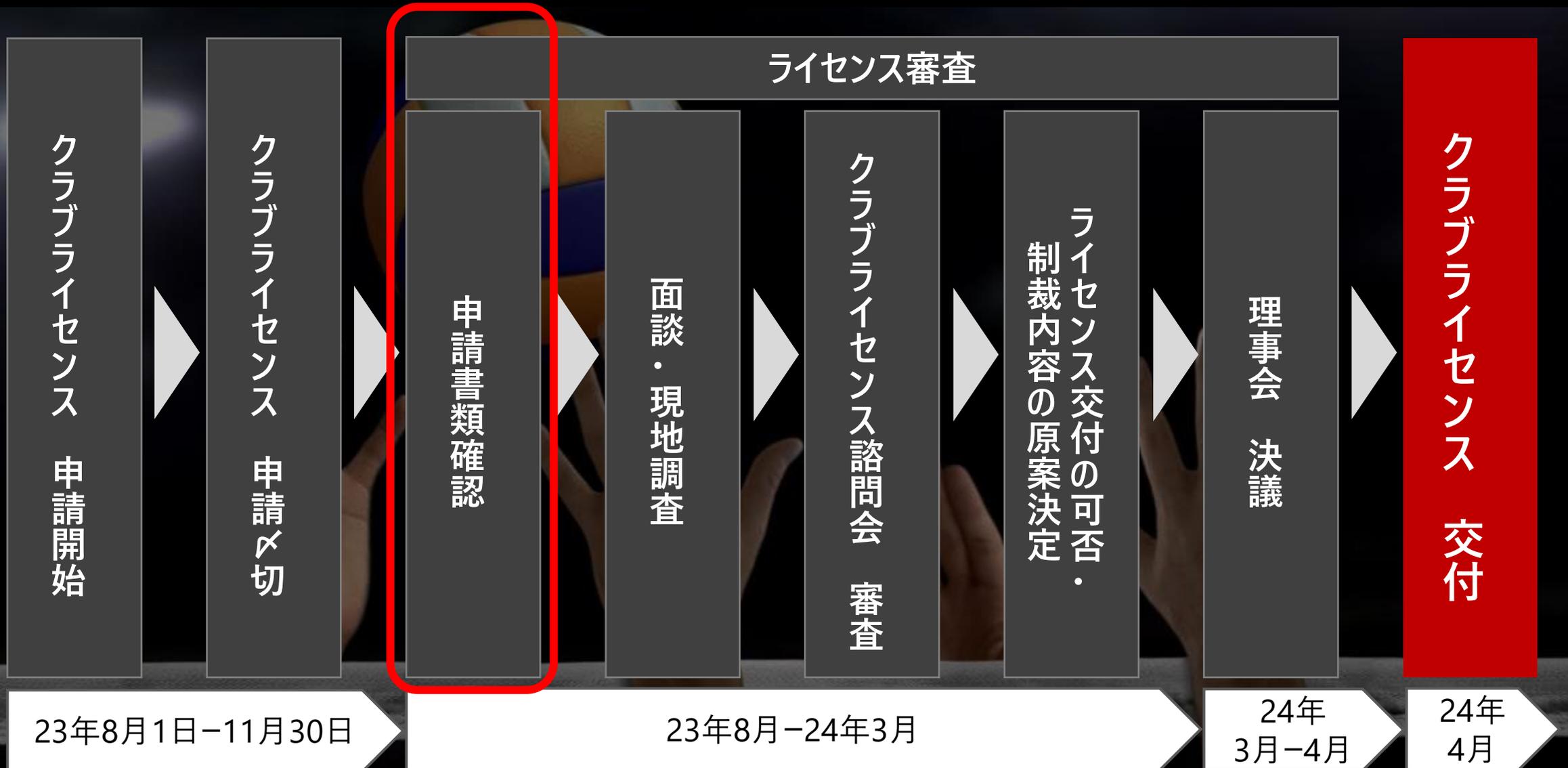
2. 新クラブライセンス 申請状況

-新S-V.LEAGUE / V.LEAGUEのフォーマット

 : 今回の主な更新箇所

2024-25シーズン～		S-V.LEAGUE	V.LEAGUE
コートレイアウト		チームベンチ側にファーストレフェリーと記録席、 反対側にセカンドレフェリーを配置 (国際大会基準に準拠)	チームベンチ側にセカンドレフェリーと記録席、 反対側にファーストレフェリーを配置 (現行V.LEAGUEのまま)
大会方式 (レギュラーラウンド)	試合数	1クラブ44試合	1クラブ28試合
	方式	・ホーム&アウェー制 ・週末(土日)を基本とした2試合同一 カードの対戦	・カンファレンス制 (編成数により2～3地区に振り分け) ・週末(土日)を基本とした2試合同一 カードの対戦
大会方式 (プレーオフ)		・レギュラーラウンド上位クラブによるトーナメント (編成数により進出クラブ数は変動) ・2戦先勝方式(最大3試合) ・レギュラーラウンド上位クラブのホーム開催 (除ファイナル) ・ファイナルはJVL直轄大会	・各カンファレンス上位チームによるトーナメント ・ファイナルはJVL直轄大会 (その他方式は調整中)

3. 新クラブライセンス審査スケジュール





2. V.LEAGUE REBORN 進捗状況

2. V.LEAGUE REBORN 今後の検討事項

V.LEAGUE REBORN全体として、新クラブライセンス制度のみにとどまらず、
様々な課題について引き続き議論していく

世界最高峰のリーグへ

選手の移籍・プロ化

ユースチーム大会

外国籍選手のオン・ザ・コートルール

海外ファン拡大（アジア戦略）
など...

より強固な基盤を、より広い規模に展開

クラブライセンス制度・クラブライセンスマネージャー（常勤）

2. 2024-25 外国籍選手の取り扱い/試合出場ルールについて

2024-25シーズンにおける外国籍選手の取り扱い

UPDATE

-外国籍選手枠（日本国籍を持たない者）

- ・ 帰化した選手は日本人選手とする。帰化していない選手は外国籍扱いとする。
- ・ 日本で生まれ、次のいずれかに該当する選手は、日本国籍を有しない場合でも、外国籍選手とはみなさない。
 - ①学校教育法第1条に定める学校において、教育基本法第5条に定める義務教育中の者又は義務教育を修了した者
 - ②学校教育法第1条に定める高等学校または大学を卒業した者
- ・ 但し、日本以外の国の代表として試合に出場した場合は、以降、日本人選手としては扱わない。

UPDATE

-アジア枠（男女統一）

- ・ 対象国：インドネシア、韓国、タイ、チャイニーズタイペイ、フィリピン、ベトナム
※現対象国：インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス
（男子のみ+中国、韓国、チャイニーズタイペイ）

NEW

-アジア提携国枠（新設）

- ・ 採用国：交渉中
- ・ アジア枠に加え、アジア枠に採用された上記国・地域の中で、協会（リーグ）と契約を締結できた国・地域の出身選手については日本人と同等の扱いで出場可能とする。（アジア枠対象国については提携国となることを目指す）

2. 2024-25 外国籍選手の取り扱い/試合出場ルールについて

試合出場ルール

-ベンチ登録ルール ※現行通り

- ベンチ登録：12名以上必須 13-14名（リベ01-2名）、12名（リベ00-1名）

NEW

-オンザコートルール ※新設定基準

- 各クラブが試合にエントリーすることができる外国籍選手の人数制限は設けないものとする。
- ただし、コート上で同時にプレーできる外国籍選手の人数制限を設ける。
※S-V.LEAGUEとS-V.LEAGUE準加盟のカップ戦が開催される場合は「V.LEAGUE（2+1）」のルールを採用する
- 選手交代は1セット6回とする。 ※国際ルールに準じる

		外国籍選手枠	アジア枠	アジア提携国
現行V.LEAGUE		1名 (+ 帰化予定選手枠1名)	1名	—
S-V.LEAGUE	2024-25シーズン~ 2026-27シーズンまで	2名	1名	○
	2027-28シーズン以降	3名	1名	○
V.LEAGUE	2024-25シーズン以降	2名	1名	○



THANK YOU.

2. 新クラブライセンス 概要

(1) 種類

S-V.LEAGUEの参入資格

SVライセンス

V.LEAGUEの参入資格

Vライセンス

SV準加盟クラブの認定資格

SVライセンスを申請し、以下の項目を除いてSVライセンスの基準を満たすクラブに対して認定。交付ライセンスはVライセンス。

- ①ホームアリーナ基準 ※1
- ②ホームアリーナ要件 ※2
- ③売上高基準

※1 ホームアリーナの所有またはホームゲームの80%以上を開催できるアリーナの確保

※2 入場可能数ほか、アリーナの施設および設備に関する条件



2. 新クラブライセンス 概要

(2) 基準 - SVライセンス・Vライセンスの主な共通項目

新設

母体会社の法人格

- ・取締役会設置株式会社
SV：2027-28～必須 V：2030-31～必須

新設

クラブの経営責任者

- ・代表取締役の設置
(バレーボール事業未法人化クラブの場合)
- ・クラブの運営・事業・資金決済の専決権限を有する所管役員または同等の役職者の設置

新設

ユースチーム

- ・U15カテゴリー、U18カテゴリーのユースチームの保有
<U15> SV：2024-25～必須 V：2027-28～必須
<U18> 2027-28～必須

新設

ユースチーム・育成
指導者資格

- ・ユースチーム監督：コーチ 2 以上
- ・育成責任者：コーチ 2 以上
- ・育成担当（1名必須）：コーチ 1 以上

スクール等の活動

- ・スクールの運営、学校等への選手またはコーチ派遣、バレーボール教室、生涯スポーツプログラムの提供、バレーボール活動資金援助等の活動実施

財務

- ・3期連続赤字の禁止
- ・純資産金額のマイナス（債務超過）の禁止

2. 新クラブライセンス 概要

(2) 基準 - SVライセンス・Vライセンスの主な相違項目

	SVライセンス	Vライセンス
新設		
ホームアリーナ 基準・要件	ホームゲーム数の 80% 以上開催	ホームゲーム数の 60% 以上開催
	入場可能数 5,000 名以上 ※2029-30までは3,000名以上	入場可能数 2,000 名以上 ※2029-30までは750名以上
新設	チーム専用クラブハウス 必須	チーム専用クラブハウス 推奨
新設	6 億円以上 ※2026-27までは4億円以上	2 億円以上 ※2030-31までは推奨
新設	アナリスト・通訳・医師 必須	アナリスト・通訳・医師 推奨
一部 新設	監督・コーチ（1名必須）：コーチ 4 以上	監督・コーチ（1名必須）：コーチ 3 以上
外部監査	外部監査法人または公認会計士による 外部監査 必須	外部監査法人または公認会計士による 外部監査 推奨

2. 新クラブライセンス 概要

(3) 審査機関

